

五年間を簡単に振り返って
機械工学科 5年 須藤大翔

部活や他の課外活動をやらない限り、ほとんどクラス内だけしか関わらない高専という環境の中で、部活をすることを選んで本当に良かったと思う。高専に入って、もし、何もしなかったら、勉強の知識と数人の友人関係以外ほとんど何も得ない五年間になってしまったと思う。新入生には、自分の世界観を広げるためにも、長い五年間を有効に活用して何かにチャレンジすることをおすすめしたい。



陸上競技部顧問 江田茂行准教授のコメント
～ 才能ある高専生はたくさんいる！ 後は磨くだけ...～

長岡高専に入学してから陸上競技をはじめ（小中学校までは軟式野球）。3年生の時（2010年）に沖縄インターハイ出場（新潟県高校チャンピオン）、準決勝まで進出。2010・11年には全日本ジュニア選手権大会出場。全国高専大会三連覇（2010～2012年）による特別表彰&大会新記録を樹立。全国高専記録保持者（14秒27）、北信越学生チャンピオン。日本インカレ（大学生の全国大会）出場が主な戦歴。

高専で陸上競技・ハードルを選んだきっかけを聞くと、「世界観を広げたい...」。アメリカ大リーグ・マリナーズからヤンキースへ電撃移籍したイチローの印象的なコメントは「前向きな挑戦」。

原石を磨くモチベーションは天才イチローと共通するものがありますね。